

平成26年度わかやま農商工連携ファンド助成事業採択一覧

(採択)

(単位:千円)

	事業者名	代表者名	所在地	今回事業計画内容	事業説明	交付決定予定額	備考
①	(株)成田本店 (漁具販売)	成田 佳永	田辺市	新素材(蓄光材)を使用した 魚網の開発	・巻き網漁の主な対象魚であるマルアジは、仕掛けた漁網から抜け出る魚が多いので漁獲が難しく、網目にマルアジが刺さる(目刺さり)といった問題が多い。 ・今回は、蓄光材を使用した魚網により、マルアジに光の壁を感じさせ、漁網内にとどまらせることにより、目刺さりが軽減する。	3,840	新規
	(有)協栄漁業	松村 和映	御坊市				
②	(株)岩谷 (水産物加工販売)	岩谷 耕三	串本町	南高梅ジャムと梅真鯛を用いた 「魚ジャム」の開発	・魚を使ったジャム(ジュレのようなイメージ)を作る。 ・パンに塗って食べるという通常の使用方法だけでなく、ドレッシングや魚のフライにつけるような使用方法で新しい市場を開拓する。	2,862	新規
	紀南農業協同組合	本田 勉	田辺市				
③	(有)井戸畳店	井戸 宏和	白浜町	和歌山県産いぐさを使用した 畳表の開発	・県内産「いぐさ」を使用した畳表は商品化されていない。 ・四つ葉農園が、熊本県(国内有名畳表生産地)でいぐさ栽培技術の現場指導を受けながら「いぐさ」を生産し、井戸畳店で和歌山県産の畳表に仕上げる。 (参考)1993年頃から中国のいぐさ生産量が、日本の生産量を上回り、全体シェアの約65%(2010年)を占めるようになった。	3,740	新規
	四つ葉農園 (農家)	濱野 孝人	田辺市				
④	アイレス電子工業(株)	辻 正吾	海南市	再生可能エネルギー (薪ボイラーと太陽光)、LED、 無線装置機器(ジグビー+WiFi)を 装備した次世代温室管理システム とバラ・ブランドの開発	・薪を使ったボイラーにLEDと3G対応遠隔管理システムを組み合わせさせた「スマート温室システム」を開発し、バラのブランド「サンシャイン・花」を栽培。 ・燃料費で約10%の削減、CO2で約10,000kg/年の削減が見込まれ、昨年度から手掛けている。	1,281	2年目事業
	山本バラ園	山本 修功	御坊市				
計						11,723	